

# 広報ちゅうざん

4月号 平成25年4月10日発行



## 目次

2ページ

平成二十五年新年度の  
スタートに際してのご挨拶

3ページ

新年度看護部長あいさつ

4ページ

入退院状況

編集：西野

# 平成二十五年新年度の

## スタートに際してのご挨拶

ちゅうざん病院長 田中正一

平成二十五年四月新年度が始まりました。新しい職員も加わり、活気に満ちています。昨年度は軽度ではありましたが、台風被害を受けました。政治的には民主党から自由民主党へと政権交代があり、経済ではアベノミクスが話題となっています。対外的にはTPP参加表明などで医療のいろいろな仕組みも変わっていくのではないかと報道もあります。国内は急速な高齢化・少子化の到来の中で、介護保険制度を継続可能な制度としていくために二〇二五年を目途に、「地域包括ケアシステム」の構築も提唱されています。しかしながら、当院はどのような社会情勢でも、リハビリテーション専門病院として高齢

者や障害者の人達が、安心して生活ができるような、医療・介護の提供を目指してまいります。

四月から新しい仲間の力を得、新たな若いエネルギーを活力に変えて、全職員力をあわせて、さらなる発展に努力をしていきたいと思えます。

全職員がやさしく、あたたかく、気配りを持って心の通いあう医療を提供し、地域に開かれた病院を目指してまいります。地域の皆様のために、より一層信頼される病院としての責務を果たしてまいりたいと、職員一同ごころより念願しております。皆様方の一層のご理解とご支援を賜れば幸いです。



## 新年度看護部長あいさつ

このたび、ちゅうさん病院看護部長に就任いたしました仲西壽美と申します。

看護部の最高責任者という重責を担う事となり、その責任の重大さを痛感するとともに看護部に新しい風を吹き込むべく決意を新たにしているところです。

前任の米沢部長の業績に感謝し、いいことはそのまま引き継ぎながら、看護部の繁栄に役立ていきたいと思えます。そして今後は看護部組織の再構築を図り、患者満足度の高い看護・介護の提供をしていきたいと思えます。さて、昨今では「看護がみえない」「看護は可視化できるのか」ということが問われています。

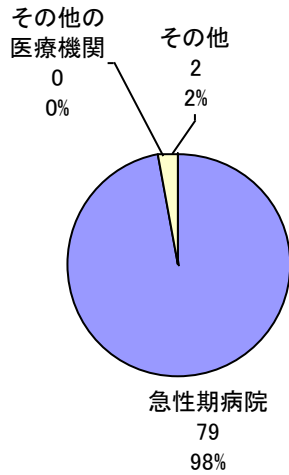
私たち看護部では、褥そう発生率や感染症発生率等を看護の質評価の指標とし、質の高

い看護・介護を提供していく所存であります。働きやすい職場環境を作り、職員の満足度をたかめることで、質の高い看護・介護の提供に繋がると信じております。これからも患者さまのリハビリ目標達成に向け、チーム医療に貢献できるよう努力していきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。



# 平成 25 年 3 月入退院状況

## 入院



## 退院先

